

平成27年国勢調査第3次試験調査(フルドレスリハーサル)の概要

調査の目的

- これまでの試験調査結果を踏まえて策定する平成27年国勢調査の実施計画案に基づき、平成27年国勢調査第3次試験調査を実施し、調査方法の最終的な検証を行うとともに、地方公共団体における事務処理の習熟を図る。

調査の概要

- 調査時期：平成26年6月19日（木）（予定）
- 調査地域：都道府県庁所在市及び都道府県庁所在市以外の政令指定都市（東京都の特別区（1区）を含む52市区）の区域に属する平成22年国勢調査調査区の中から、地域特性ごとに選定する520調査区
- 調査対象：調査日現在、上記の選定調査区に常住するすべての世帯・人（約28,080世帯）
- 調査項目：
 - <世帯員に関する事項>
男女の別、出生の年月、就業状態、所属の事業所の名称及び事業の種類 など
 - <世帯に関する事項>
世帯員の数、住居の種類、住宅の建て方 など
- 調査票：試験調査の結果を踏まえ、OCR（光学式文字読取装置）調査票を設計
- 調査方法：
 - <調査票の配布方法>
調査員がオンライン回答を促進するため、全世帯に対して、調査票配布前に『調査についてのお知らせ』（世帯用ログイン情報等を封入した封筒）を配布
オンライン回答がなかった世帯にのみ、調査票を配布
 - <調査票の提出（回答）方法>
オンライン回答のほか、調査票を配布した世帯は、記入済の調査票の提出について、調査員にそのまま提出する方法、調査票を封筒に入れて封をして調査員に提出する方法又は郵送により提出する方法のいずれかが選択できることを周知



- 調査の流れ：



結果の利用

- 平成27年国勢調査の企画・立案の基礎資料
- 統計委員会及び人口・社会統計部会等への検討結果の報告 など

平成27年国勢調査第3次試験調査 実施状況等結果の概要

本資料は、平成27年国勢調査に向けた調査方法等の最終的な検証と地方公共団体における事務の習熟を図ることを目的に、平成26年6月19日を調査期日として実施した「平成27年国勢調査第3次試験調査」の実施状況について、その結果の概要を取りまとめたものである。

I 調査票の集計結果

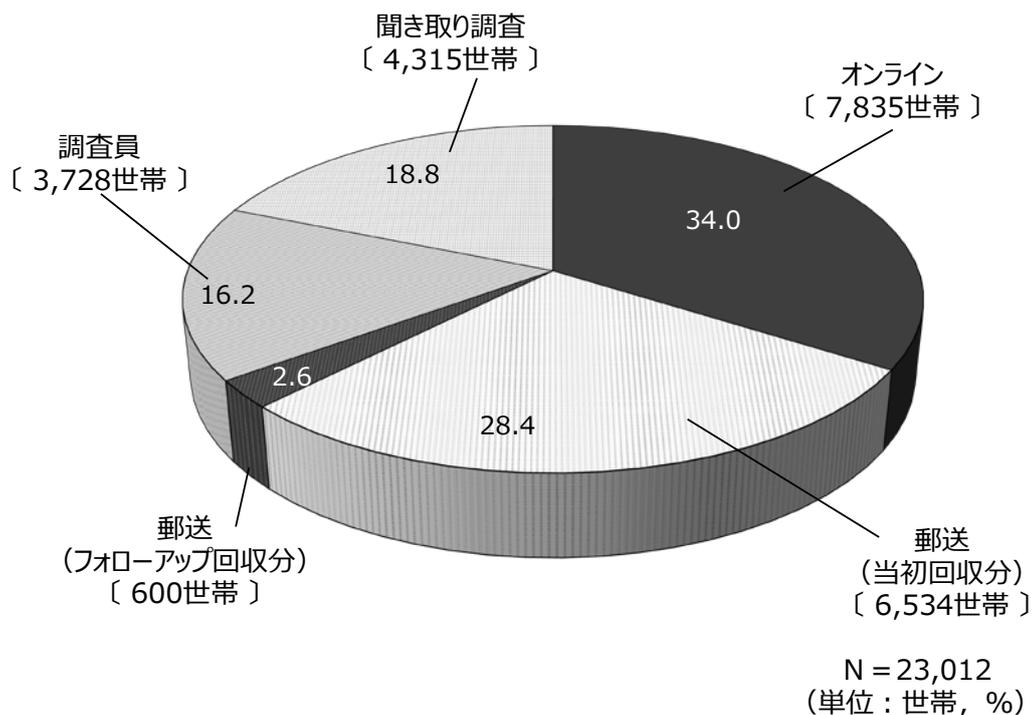
第1 調査票の回収状況

1 全体の回収状況

調査対象世帯は、23,012世帯となっており、これを回収方法別にみると、オンライン回収は7,835世帯（調査対象世帯に占める割合34.0%）、当初回収分とフォローアップ回収分を合わせた郵送回収は7,134世帯（同31.0%）、調査員回収は3,728世帯（同16.2%）、聞き取り世帯は4,315世帯（同18.8%）などとなっている。《図1》

また、今回の試験調査では集計対象に含めていないが、フォローアップ回収後に提出のあった世帯は89世帯（同0.4%）となっている。

図1 回収方法別世帯数及び割合



2 調査区の地域特性別の回収状況

調査区の地域特性別に回収率をみると、「オートロックマンションなど民営の賃貸住宅の多い地域」及び「一戸建ての多い地域」ではいずれもオンライン回答が最も高く、約4割を占めている。

オートロックマンションやワンルームマンションの多い地域について、調査員調査と業務委託の別に回収率をみると、オートロックマンション、ワンルームマンションともに「業務委託」の方が世帯から直接回答が得られた割合が高くなっている。また、業務委託の調査区では、オンライン回答率も高くなっている。《表1》

表1 調査地域の特性、調査員調査・業務委託の別、回答方法別世帯数及び割合

(世帯, %)

地域特性 調査員調査・業務委託の別		回答方法					聞き取り 調査 1)
		総数	回答世帯 合計	オンライン	調査員	郵送	
(実数)	総数	23,012	18,697	7,835	3,728	7,134	4,315
	オートロックマンションなど民営の賃貸住宅が多い地域	7,729	6,232	2,945	970	2,317	1,497
	(調査員調査)	6,444	5,111	2,278	823	2,010	1,333
	(業務委託)	1,285	1,121	667	147	307	164
	ワンルームマンションなど単身者が居住する住宅の多い地域	5,044	3,647	1,383	973	1,291	1,397
	(調査員調査)	4,491	3,214	1,191	805	1,218	1,277
	(業務委託)	553	433	192	168	73	120
一戸建ての多い地域	5,017	4,647	1,913	1,069	1,665	370	
その他の地域	5,222	4,171	1,594	716	1,861	1,051	
(構成比)	総数	100.0	81.2	34.0	16.2	31.0	18.8
	オートロックマンションなど民営の賃貸住宅が多い地域	100.0	80.6	38.1	12.6	30.0	19.4
	(調査員調査)	100.0	79.3	35.4	12.8	31.2	20.7
	(業務委託)	100.0	87.2	51.9	11.4	23.9	12.8
	ワンルームマンションなど単身者が居住する住宅の多い地域	100.0	72.3	27.4	19.3	25.6	27.7
	(調査員調査)	100.0	71.6	26.5	17.9	27.1	28.4
	(業務委託)	100.0	78.3	34.7	30.4	13.2	21.7
一戸建ての多い地域	100.0	92.6	38.1	21.3	33.2	7.4	
その他の地域	100.0	79.9	30.5	13.7	35.6	20.1	

1) 調査票を回収することができず、聞き取り調査を行った世帯を指す。

(参考) 第3次試験調査における調査区の地域特性

地域特性	選定条件
① オートロックマンションなど民営の賃貸住宅が多い地域 (単身者が多い地域を除く)	・住居の種類「民営の賃貸住宅」の世帯の割合が50%以上の調査区 ・単身世帯率50%未満の調査区
② ワンルームマンションなど単身者が居住する住宅の多い地域	・住宅の建て方「共同住宅」の世帯の割合が50%以上の調査区 ・単身世帯率50%以上の調査区 ※学生寮などの世帯員が30人以上の施設等の世帯を含む調査区を含む
③ 一戸建ての多い地域	住宅の建て方「一戸建て」の世帯の割合が50%以上の調査区
④ その他の地域	・住宅の建て方「共同住宅」の世帯の割合が30%以上70%未満の調査区 ・住宅の建て方「一戸建て」の世帯の割合が30%以上70%未満の調査区 ・①及び②で選定した調査区以外の調査区

3 世帯人員別の回収状況

世帯人員別の回収率をみると、世帯人員が2人以上の世帯で9割以上となっている。一方、単身世帯では、64.6%となっている。《表2》

表2 世帯人員，回収方法別世帯数及び割合

(世帯，%)

回答方法		世帯人員規模	総数	回収方法			聞き取り調査 1)	
				回答世帯 合計	オンライン	調査員		郵送
(実数)	総数		23,012	18,697	7,835	3,728	7,134	4,315
	単身世帯		9,893	6,388	2,187	1,544	2,657	3,505
	世帯人員2人		5,822	5,430	2,093	1,126	2,211	392
	世帯人員3人		3,556	3,347	1,652	501	1,194	209
	世帯人員4人		2,586	2,452	1,376	311	765	134
	世帯人員5人以上		1,155	1,080	527	246	307	75
(構成比)	総数		100.0	81.2	34.0	16.2	31.0	18.8
	単身世帯		100.0	64.6	22.1	15.6	26.9	35.4
	世帯人員2人		100.0	93.3	35.9	19.3	38.0	6.7
	世帯人員3人		100.0	94.1	46.5	14.1	33.6	5.9
	世帯人員4人		100.0	94.8	53.2	12.0	29.6	5.2
	世帯人員5人以上		100.0	93.5	45.6	21.3	26.6	6.5

1) 調査票を回収することができず、聞き取り調査を行った世帯を指す。

4 世帯主の年齢階級別の回収状況

世帯主の年齢階級別に調査票の回収状況をみると、60歳未満ではオンライン回答した世帯の割合が約半数を占めている一方で、60歳以上では、郵送提出している世帯の割合が他の年齢層に比べ高くなっている。

また、20歳代及び30歳代では、聞き取り調査の割合が他の年齢層に比べ高くなっている。《表3》

表3 世帯主の年齢階級，回収方法別世帯数及び割合

(世帯，%)

回収方法	(実数)						(構成比)					
	総数	回答世帯 合計	オンライン	調査員	郵送	聞き取り 調査 1)	総数	回答世帯 合計	オンライン	調査員	郵送	聞き取り 調査 1)
世帯主の年齢階級												
総数	23,012	18,697	7,835	3,728	7,134	4,315	100.0	81.2	34.0	16.2	31.0	18.8
20歳未満	399	384	242	63	79	15	100.0	96.2	60.7	15.8	19.8	3.8
20歳代	1,751	1,525	832	223	470	226	100.0	87.1	47.5	12.7	26.8	12.9
30歳代	2,561	2,296	1,343	241	712	265	100.0	89.7	52.4	9.4	27.8	10.3
40歳代	3,424	3,161	1,819	332	1,010	263	100.0	92.3	53.1	9.7	29.5	7.7
50歳代	3,163	2,996	1,578	375	1,043	167	100.0	94.7	49.9	11.9	33.0	5.3
60歳代	3,363	3,235	1,145	634	1,456	128	100.0	96.2	34.0	18.9	43.3	3.8
70歳以上	4,560	4,382	876	1,624	1,882	178	100.0	96.1	19.2	35.6	41.3	3.9
年齢不詳	3,791	718	0	236	482	3,073	100.0	18.9	0.0	6.2	12.7	81.1

1) 調査票を回収することができず、聞き取り調査を行った世帯を指す。

第2 オンライン調査による回答状況

1 アクセス状況

オンライン調査システムへログイン（アクセス）した世帯は、8,187世帯（総世帯数に占める割合35.6%）となっている。また、実際にオンライン回答をした世帯は7,835世帯（同34.0%）、ログインをしたが回答まで至らなかった世帯は352世帯（同1.5%）となっている。

なお、ログイン数（同一調査対象者からの複数ログインを含む）に占める回答者の割合は95.7%となっており、ログインした世帯のほとんどから回答を得ている。

《表4》

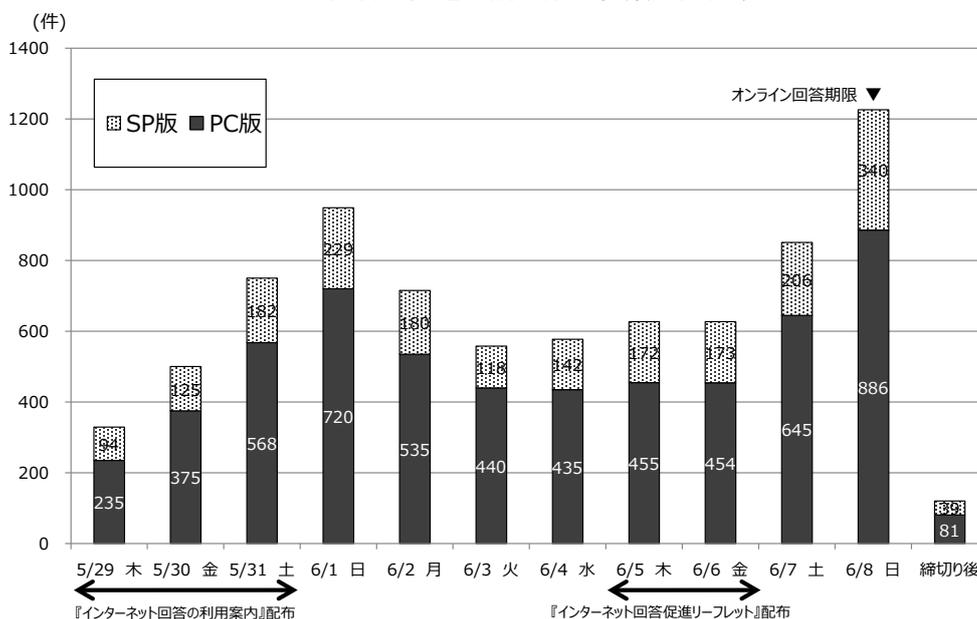
表4 オンライン調査システムへのログイン・回答数及び割合
(世帯, %)

	(実数)	(構成比1)	(構成比2)
総世帯数	23,012	100.0	
ログインした世帯	8,187	35.6	100.0
回答した世帯	7,835	34.0	95.7
回答しなかった世帯	352	1.5	4.3

2 日別の回答状況

- オンライン回答のあった世帯を日別にみると、回答期間中の初めての週末（5月31日（土）～6月1日（日））で一旦ピークとなり、以降減少傾向にあったが、『インターネット回答促進リーフレット』の配布後（6月5日（木）以降）で再度回答数が増加する傾向となっている。
- オンライン回答については、オンライン回答があった世帯（調査票を配布する必要のない世帯）を把握する必要があったことから、回答期限を6月8日（日）に設定し一旦締め切った。その後、調査票の配布を開始した6月14日以降再度受付を開始しており、その件数は120件となっている。《図2》

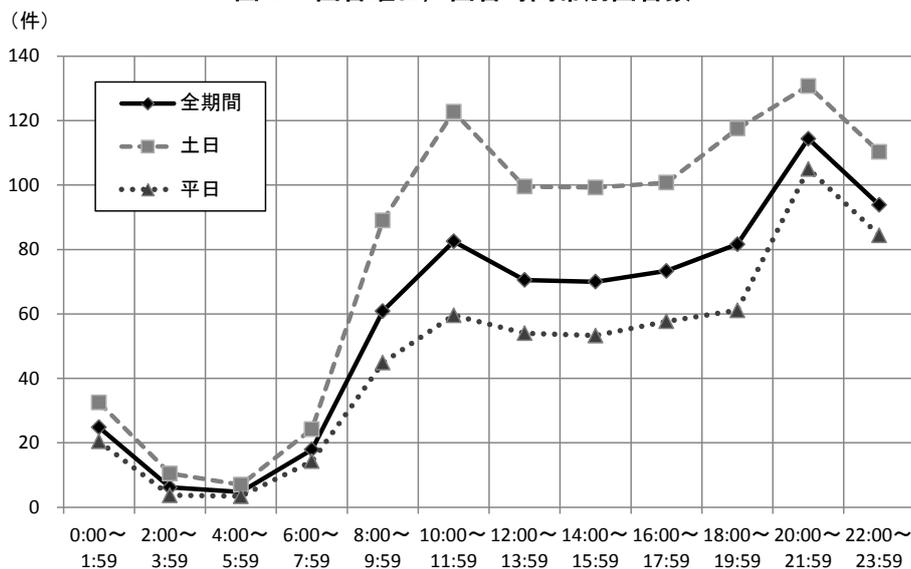
図2 回答日、電子調査票の種類別回答数



3 時間帯別の回答状況

オンライン回答のあった世帯を回答時間帯別にみると、早朝（6：00～7：59）から増加していた回答件数は、昼前（10：00～11：59）を境に一旦減少している。午後になると、16：00すぎから徐々に増加し、夜間（20：00～21：59）の時間帯でピークに達している。《図3》

図3 回答曜日、回答時間帯別回答数



4 世帯主の年齢階級別の回答状況

オンライン回答のあった7,835世帯を世帯主の年齢階級別にみると、「40歳代」が1,816件（PC版1,326件，スマートフォン版（以下「SP版」という。）490件）で最も多く、次いで「50歳代」（1,584件（PC版1,312件，SP版272件））、「30歳代」（1,343件（PC版806件，SP版537件））となっている。

また、これを電子調査票の種類別の割合でみると、SP版は「20歳未満」で51.7%、「20歳代」で41.1%、「30歳代」で40.0%など若年層での割合が高くなっている。

《表5》

表5 世帯主の年齢階級、電子調査票の種類別回答数及び割合

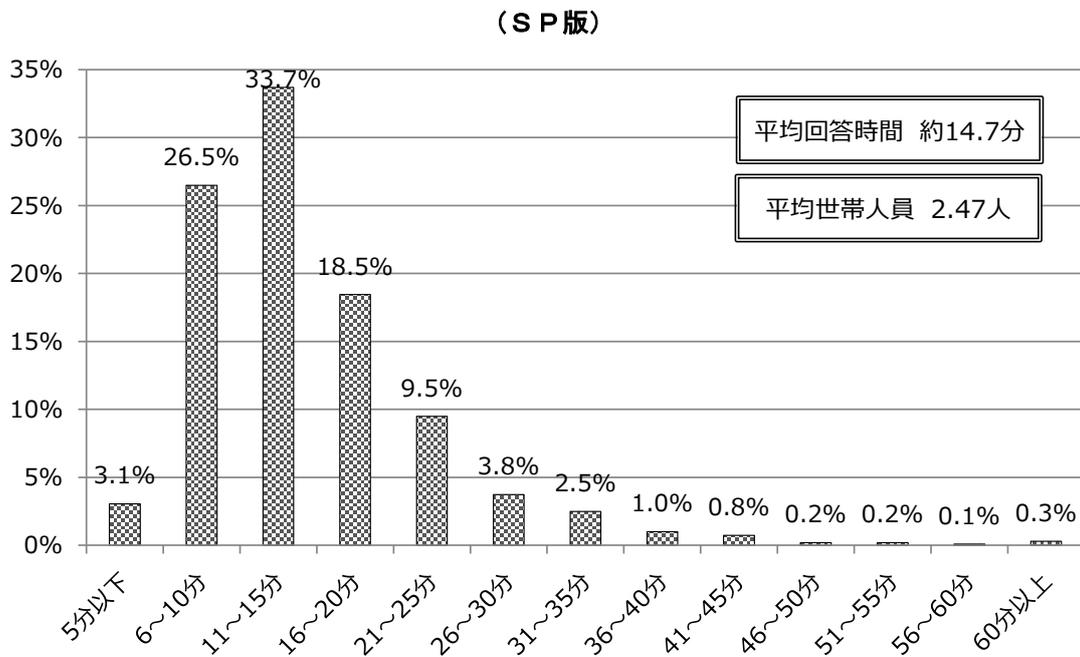
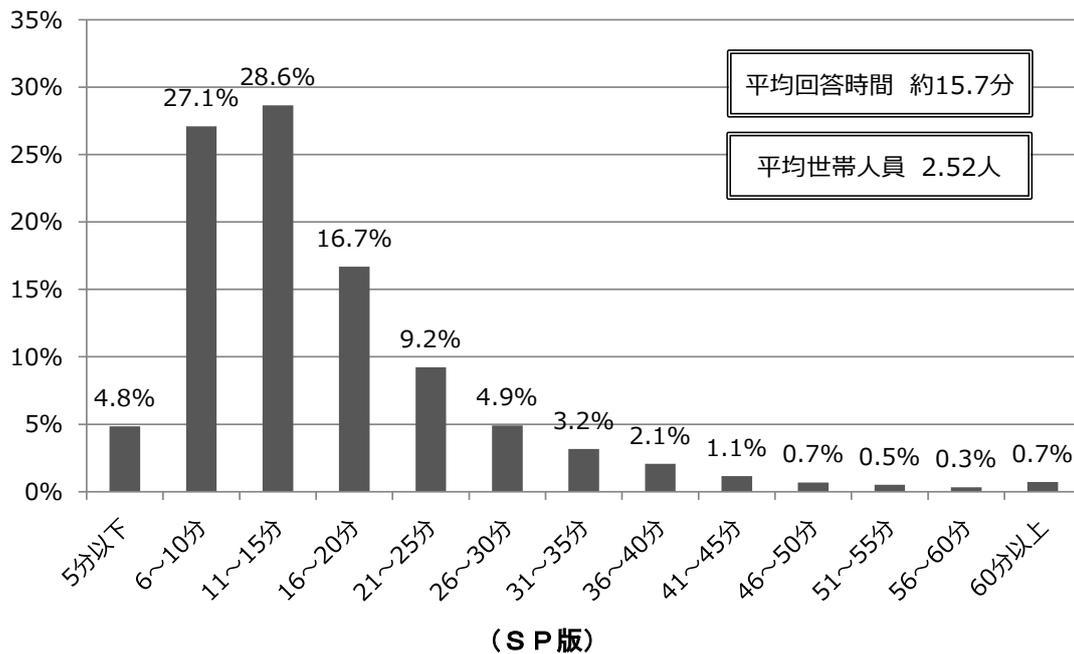
	(実数)			(構成比)		
	総計	PC版	SP版	総計		
					PC版	SP版
総計	7,835	5,835	2,000	100.0	74.5	25.5
20歳未満	242	117	125	100.0	48.3	51.7
20歳代	832	489	343	100.0	58.8	41.2
30歳代	1,343	806	537	100.0	60.0	40.0
40歳代	1,819	1,331	488	100.0	73.2	26.8
50歳代	1,578	1,307	271	100.0	82.8	17.2
60歳代	1,145	1,013	132	100.0	88.5	11.5
70歳以上	876	772	104	100.0	88.1	11.9

5 所要時間

調査世帯がオンライン調査システムにログインしてから回答データを送信するまでに要した時間についてみると、PC版、SP版ともに「11～15分」が最も高く、それぞれ28.6%、33.7%となっている。

また、電子調査票の種類別に平均回答時間をみると、PC版では約15.7分、SP版では約14.7分となっており、両者に大きな差はみられない。《図4》

図4 電子調査票の種類、回答所要時間別回答比率
(PC版)



第3 調査票の記入状況

※ 以下の記入状況は、審査事務等の参考とするため、市区による審査・訂正を行う前の状況について集計したものである。また、オンライン回収については記入漏れ等が発生しないため、調査員回収と郵送回収の調査票について記入状況の比較を行った。

1 調査項目別の記入状況

(1) 回収方法別の記入状況

調査項目別に記入状況をみると、「本人の仕事の内容」において記入不備のある割合が13.0%と最も高くなっている。また、回収方法別の記入状況をみると、調査員回収と郵送回収の記入不備の割合に大きな差は見られない。《表6》

表6 調査項目、回収方法別記入内容に不備のある世帯及び世帯員の割合

(%)

調査項目 ※左の番号は調査項目の番号	回収方法 不備の内容	合計			(調査員回収)			(郵送回収)		
		エラー あり	記入 漏れ	マルチ 記入	エラー あり	記入 漏れ	マルチ 記入	エラー あり	記入 漏れ	マルチ 記入
第1面	1 世帯人員	0.1	0.1	-	0.2	0.2	-	0.1	0.1	-
	2 住居の種類	3.5	3.3	0.2	4.2	4.0	0.2	3.2	3.0	0.2
	3 男女の別	0.4	0.4	0.0	0.4	0.4	0.0	0.3	0.3	0.0
	4 世帯主との続柄	0.7	0.6	0.1	0.8	0.7	0.1	0.6	0.5	0.1
	5 出生の年月(元号・西暦)	1.0	1.0	0.1	1.3	1.3	0.0	0.8	0.7	0.1
	6 配偶者の有無	1.9	1.9	0.0	1.7	1.7	0.0	2.0	2.0	0.0
	7 国籍	1.0	1.0	0.0	1.1	1.0	0.0	0.9	0.9	0.0
	外国の場合の国名 ※	1.2	1.2	-	1.1	1.1	-	0.9	0.9	-
	8 現在の住居における居住期間	1.5	1.4	0.1	1.5	1.4	0.1	1.5	1.4	0.1
	9 5年前の住居の所在地	6.1	6.0	0.1	5.9	5.8	0.1	6.3	6.1	0.1
	他の区・市町村の場合の区・市町村名 ※	9.0	9.0	-	7.8	7.8	-	10.5	10.5	-
第2面	10 就業状態	2.5	2.0	0.4	2.5	2.1	0.3	2.4	2.0	0.5
	11 従業地又は通学地	6.6	6.4	0.2	6.2	6.1	0.1	6.8	6.6	0.2
	他の区・市町村の場合の区・市町村名 ※	3.8	3.8	-	3.3	3.3	-	6.5	6.5	-
	12 従業上の地位	10.0	9.0	0.9	11.7	10.8	0.9	9.2	8.2	1.0
	13 勤め先・業主などの名称 ※	11.5	11.5	-	13.8	13.8	-	10.3	10.3	-
	事業の内容 ※	12.3	12.3	-	14.5	14.5	-	11.2	11.2	-
	14 本人の仕事の内容 ※	13.0	13.0	-	16.2	16.2	-	11.5	11.5	-
調査員欄	世帯の種類	0.6	0.5	0.0	0.3	0.3	0.0	0.7	0.6	0.0
	住宅の建て方	0.4	0.4	0.1	0.4	0.3	0.1	0.5	0.4	0.1
	共同住宅の場合の階数	1.0	1.0	-	0.7	0.7	-	1.1	1.1	-

※ フリー記入欄における記入の有無

(2) 調査地域の特性，調査員調査・業務委託の別記入状況

オートロックマンションやワンルームマンションの多い地域について，調査員調査と業務委託の別に記入状況をみると，多くの調査項目で「業務委託」した調査区の記入不備の割合が低くなっている。《表7》

表7 調査項目（世帯記入・調査員記入），調査地域の特性，調査員調査・業務委託の別記入内容に不備のある世帯及び世帯員の割合

(%)

調査項目 ※左の番号は調査項目の番号		オートロックマンションなど民営の賃貸住宅が多い地域 (調査員調査)						ワンルームマンションなど単身者が居住する住宅の多い地域 (調査員調査)					
		調査員調査			業務委託			調査員調査			業務委託		
		エラーあり	記入漏れ	マルチ記入	エラーあり	記入漏れ	マルチ記入	エラーあり	記入漏れ	マルチ記入	エラーあり	記入漏れ	マルチ記入
第1面	1 世帯人員	0.1	0.1	-	0.2	0.2	-	0.2	0.2	-	0.0	0.0	-
	2 住居の種類	3.2	3.0	0.3	2.9	2.9	0.0	3.8	3.5	0.3	2.1	2.1	0.0
	3 男女の別	0.4	0.4	0.0	0.3	0.3	0.0	0.8	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0
	4 世帯主との続柄	0.7	0.6	0.1	0.3	0.3	0.0	1.3	1.1	0.2	0.0	0.0	0.0
	5 出生の年月（元号・西暦）	1.0	0.9	0.1	0.7	0.7	0.0	1.6	1.6	0.0	0.1	0.1	0.0
	6 配偶者の有無	2.0	2.0	0.0	1.4	1.4	0.0	2.6	2.5	0.1	0.3	0.3	0.0
	7 国籍	1.1	1.0	0.0	0.8	0.7	0.1	1.6	1.6	0.0	0.3	0.3	0.0
	外国の場合の国名 ※	1.0	1.0	-	0.6	0.6	-	1.6	-	-	0.3	0.3	-
	8 現在の住居における居住期間	1.4	1.3	0.1	1.7	1.4	0.3	2.2	2.2	0.0	0.3	0.3	0.0
9 5年前の住居の所在地	6.0	5.8	0.1	5.6	5.6	0.0	6.2	6.2	0.0	1.2	1.2	0.0	
他の区・市町村の場合の区・市町村名 ※	10.3	10.3	-	6.8	6.8	-	6.9	6.9	-	1.5	1.5	-	
第2面	10 就業状態	2.1	1.6	0.5	2.2	1.7	0.5	3.9	3.5	0.4	0.2	0.1	0.1
	11 従業地又は通学地	5.5	5.3	0.2	6.4	6.1	0.3	7.4	7.3	0.1	2.2	2.2	0.0
	他の区・市町村の場合の区・市町村名 ※	3.5	3.5	-	4.2	4.2	-	4.6	4.6	-	0.5	0.5	-
	12 従業上の地位	8.5	7.5	1.0	8.6	7.1	1.4	15.2	14.4	0.8	7.0	6.3	0.7
	13 勤め先・業主などの名称 ※	9.4	9.4	-	6.8	6.8	-	17.2	17.2	-	7.0	7.0	-
事業の内容 ※	10.2	10.2	-	7.3	7.3	-	18.0	18.0	-	7.0	7.0	-	
14 本人の仕事の内容 ※	10.7	10.7	-	11.8	11.8	-	19.6	19.6	-	8.4	8.4	-	
調査員欄	世帯の種類	0.7	0.6	0.1	0.2	0.2	0.0	0.4	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0
	住宅の建て方	0.2	0.1	0.1	0.2	0.2	0.0	0.5	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0
	共同住宅の場合の階数	0.6	0.6	-	0.0	0.0	-	0.9	0.9	-	0.0	0.0	-

※ フリー記入欄における記入の有無

2 記入状況についての評価

- オンライン回収は，郵送回収や調査員回収に比べ記入不備やダブルマーク等が発生せず，市区町村の審査事務の軽減や不詳の削減に大きな効果がある。
- 調査員回収は，オンラインや郵送での回答がない世帯から催促し回収を行うなど，比較的調査困難な世帯が含まれている中で，一定の記入状況を確保している。
- 集合住宅については，管理人等が調査員として調査を行うことにより，記入内容の改善が図られている。
- 産業及び職業等のフリー記入欄においては，審査前の記入不備の割合が高く，審査事務増の要因となるため，『調査票の記入のしかた』等においてわかりやすい説明に努めたい。

Ⅱ オンライン回答に係る世帯アンケートの集計結果

1 回答者について

オンラインによる世帯アンケートは、オンライン回答をした7,835世帯に依頼しており、このうち6,801世帯から回答（回答率86.8%）があった。

回答者を男女別にみると、男性が3,738人（総数に占める割合55.0%）、女性が2,754人（同40.5%）となっている。

また、回答者を年齢階級別にみると、「40歳代」が24.5%と最も高く、次いで、「50歳代」（20.0%）、「30歳代」（18.5%）などとなっている。《表8》

表8 男女、年齢階級別回答者数及び割合

(人, %)

年齢階級	男女	(実数)				(構成比1)				(構成比2)			
		総数	男	女	不詳	総数	男	女	不詳	総数	男	女	不詳
総計		6,801	3,738	2,754	309	100.0	55.0	40.5	4.5	100.0	100.0	100.0	100.0
20歳未満		197	104	92	1	100.0	52.8	46.7	0.5	2.9	2.8	3.3	0.3
20歳代		762	372	387	3	100.0	48.8	50.8	0.4	11.2	10.0	14.1	1.0
30歳代		1,257	613	637	7	100.0	48.8	50.7	0.6	18.5	16.4	23.1	2.3
40歳代		1,664	854	799	11	100.0	51.3	48.0	0.7	24.5	22.8	29.0	3.6
50歳代		1,357	845	494	18	100.0	62.3	36.4	1.3	20.0	22.6	17.9	5.8
60歳代		845	630	199	16	100.0	74.6	23.6	1.9	12.4	16.9	7.2	5.2
70歳以上		434	306	116	12	100.0	70.5	26.7	2.8	6.4	8.2	4.2	3.9
無記入・不詳		285	14	30	241	100.0	4.9	10.5	84.6	4.2	0.4	1.1	78.0

2 操作が簡単であったか否か

オンライン回答に際し、電子調査票の操作が簡単であったかについては、「簡単であった」が81.7%となっている。

これを年齢階級別にみると、「40歳代」が86.2%と最も高く、次いで「30歳代」が83.3%となっている。なお、「70歳以上」においても7割を超える者（72.8%）が簡単であったと回答している。

また、電子調査票の種類別に「簡単であった」と答えた者の割合をみると、PC版では20歳未満～60歳代の幅広い年齢層で8割を超えており、SP版では20歳代～40歳代の年齢層で7割を超えている。《表9》

表9 電子調査票種別、年齢階級、「操作が簡単であったか否か」別回答者数及び割合

(人, %)

電子調査票種別 年齢階級	(実数)				(構成比)			
	総数	簡単で あった	簡単では なかった	どちらでも ない	総数	簡単で あった	簡単では なかった	どちらでも ない
総数	6,801	5,554	508	739	100.0	81.7	7.5	10.9
20歳未満	197	149	27	21	100.0	75.6	13.7	10.7
20歳代	762	607	62	93	100.0	79.7	8.1	12.2
30歳代	1,257	1,047	85	125	100.0	83.3	6.8	9.9
40歳代	1,664	1,435	84	145	100.0	86.2	5.0	8.7
50歳代	1,357	1,118	84	155	100.0	82.4	6.2	11.4
60歳代	845	692	71	82	100.0	81.9	8.4	9.7
70歳以上	434	316	64	54	100.0	72.8	14.7	12.4
無記入・不詳	285	190	31	64	100.0	66.7	10.9	22.5
PC版	4,925	4,191	286	448	100.0	85.1	5.8	9.1
20歳未満	94	79	5	10	100.0	84.0	5.3	10.6
20歳代	421	367	17	37	100.0	87.2	4.0	8.8
30歳代	736	647	32	57	100.0	87.9	4.3	7.7
40歳代	1,190	1,065	45	80	100.0	89.5	3.8	6.7
50歳代	1,141	968	58	115	100.0	84.8	5.1	10.1
60歳代	782	650	59	73	100.0	83.1	7.5	9.3
70歳以上	406	304	53	49	100.0	74.9	13.1	12.1
無記入・不詳	155	111	17	27	100.0	71.6	11.0	17.4
SP版	1,876	1,363	222	291	100.0	72.7	11.8	15.5
20歳未満	103	70	22	11	100.0	68.0	21.4	10.7
20歳代	341	240	45	56	100.0	70.4	13.2	16.4
30歳代	521	400	53	68	100.0	76.8	10.2	13.1
40歳代	474	370	39	65	100.0	78.1	8.2	13.7
50歳代	216	150	26	40	100.0	69.4	12.0	18.5
60歳代	63	42	12	9	100.0	66.7	19.0	14.3
70歳以上	28	12	11	5	100.0	42.9	39.3	17.9
無記入・不詳	130	79	14	37	100.0	60.8	10.8	28.5

3 本調査におけるオンライン調査利用希望の有無

平成27年国勢調査（本調査）におけるオンライン調査の利用希望の有無をみると、「希望する」が83.0%となっている。

これを年齢階級別にみると、「60歳代」が88.9%と最も高く、次いで「50歳代」が88.2%となっている。《表10》

表10 年齢階級，平成27年国勢調査におけるオンライン回答希望の有無別回答者数及び割合

(人, %)

年齢階級	(実数)			(構成比)		
	総数	希望する	希望しない	総数	希望する	希望しない
総数 1)	6,801	5,648	1,153	100.0	83.0	17.0
20歳未満	197	108	89	100.0	54.8	45.2
20歳代	762	556	206	100.0	73.0	27.0
30歳代	1,257	1,040	217	100.0	82.7	17.3
40歳代	1,664	1,427	237	100.0	85.8	14.2
50歳代	1,357	1,197	160	100.0	88.2	11.8
60歳代	845	751	94	100.0	88.9	11.1
70歳以上	434	382	52	100.0	88.0	12.0
無記入・不詳	285	187	98	100.0	65.6	34.4

1) 総数には男女の不詳を含む。

4 パソコン及びスマートフォンの所有の有無

オンラインで回答した世帯のPC，スマートフォンの所有の有無をみると，PC・スマホ「どちらも所有している」が58.0%，「PCのみ所有している」が33.3%，「スマホのみ所有している」が8.8%となっている。

これを年齢階級別にみると，「どちらも所有している」割合は「20歳未満」が86.8%と最も高く，次いで「20歳代」が77.4%となっている。「PCのみ所有している」割合は「70歳以上」が80.2%と最も高く，次いで「60歳代」が66.7%となっている。

また，「スマホのみ所有している」割合は「20歳代」が14.8%と最も高く，次いで「30歳代」が14.2%となっている。《表11》

表11 年齢階級，PC及びスマートフォンの所有の有無別回答者数及び割合

(件, %)

年齢階級	(実数)				(構成比)			
	総数	どちらも所有している	PCのみ所有している	スマホのみ所有している	総数	どちらも所有している	PCのみ所有している	スマホのみ所有している
総数 1)	6,801	3,942	2,262	597	100.0	58.0	33.3	8.8
20歳未満	197	171	10	16	100.0	86.8	5.1	8.1
20歳代	762	590	59	113	100.0	77.4	7.7	14.8
30歳代	1,257	893	185	179	100.0	71.0	14.7	14.2
40歳代	1,664	1,084	441	139	100.0	65.1	26.5	8.4
50歳代	1,357	699	593	65	100.0	51.5	43.7	4.8
60歳代	845	265	564	16	100.0	31.4	66.7	1.9
70歳以上	434	72	348	14	100.0	16.6	80.2	3.2
無記入・不詳	285	168	62	55	100.0	58.9	21.8	19.3

1) 総数には男女の不詳を含む。

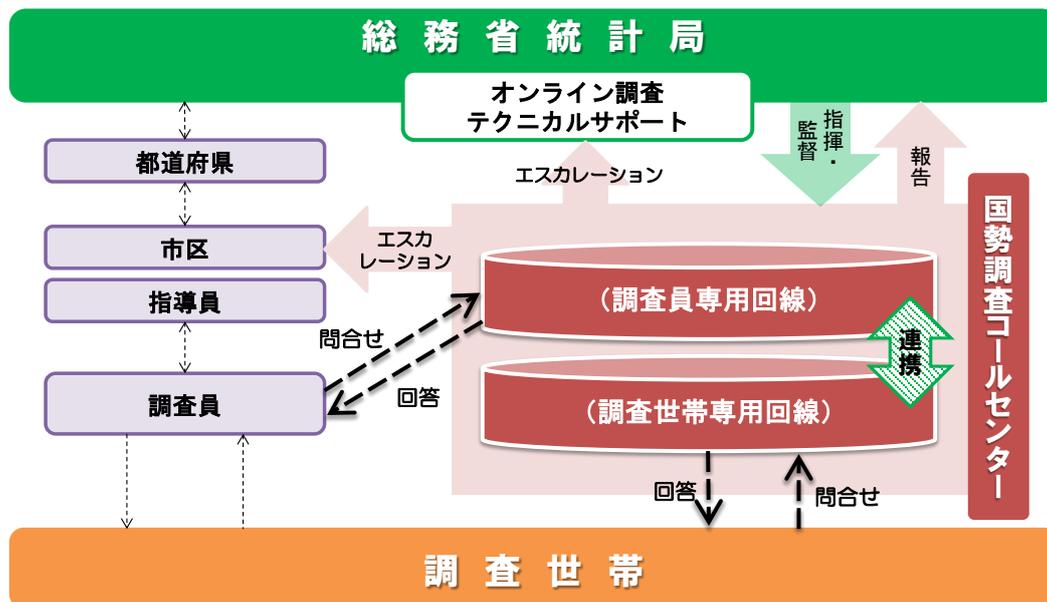
Ⅲ 民間事業者による実査事務サポートの実施状況

第1 コールセンターにおける世帯及び調査員からの照会対応

1 業務の概要

- (1) 業務内容 第3次試験調査に関する世帯・調査員からの問合せ等の電話対応
- (2) 実施期間 平成26年5月19日（月）～7月13日（日）
- (3) 実施体制 (図5参照)
統括責任者1名、副業務責任者（拠点責任者）1名、
グループ責任者（S V）1名、オペレーター4名（最大）

図5 平成27年国勢調査第3次試験調査コールセンター実施体制図



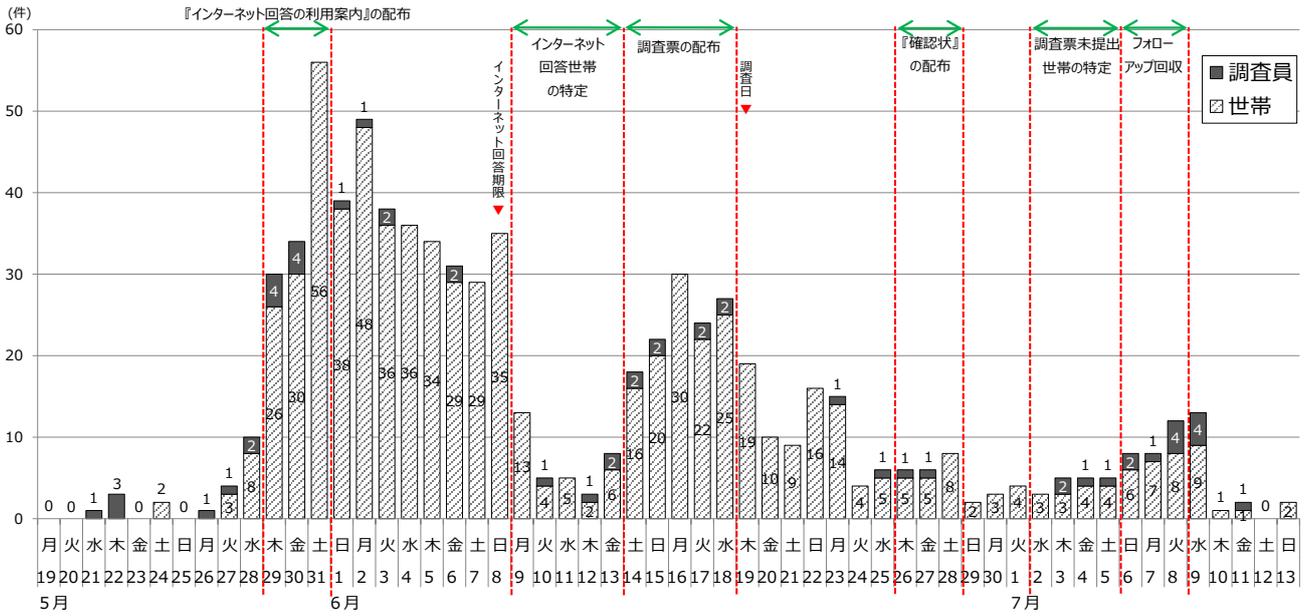
2 コールセンターの対応状況

(1) 日別着信件数

- コールセンター設置期間中の総着信件数は759件で、これを回線別にみると、世帯専用回線が705件（総着信件数に占める割合92.9%）、調査員専用回線が54件（同7.1%）であった。
- 着信数を日別にみると、5月29日（木）～6月8日（日）のオンライン回答受付期間と、6月14日（土）～6月18日（水）の調査票配布期間に着信が集中している。

調査員専用回線の状況を見ると、5月29日（木）～5月31日（土）の『インターネット回答の利用案内』の配布期間、6月14日（土）～6月18日（水）の調査票配布期間及び7月2日（水）～7月8日（火）の郵送提出世帯の特定・フォローアップ回収期間を中心に着信が見られる。《図6》

図6 日別着信件数（世帯専用回線及び調査員専用回線）



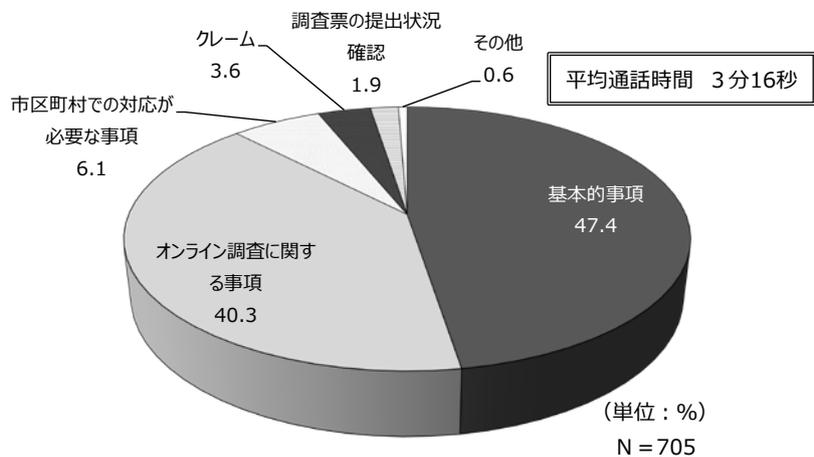
(2) 主な照会内容と平均通話時間

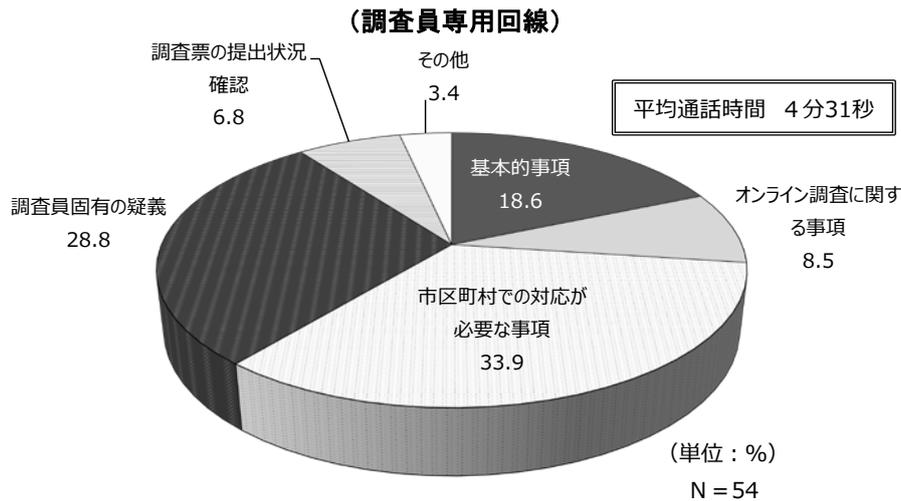
- 回線別に照会内容別の割合をみると、世帯専用回線においては、調査票の記入のしかたや調査の趣旨からなる「基本的事項」が47.4%と最も高く、次いでオンライン調査システムへのアクセス方法や操作方法からなる「オンライン調査に関する事項」が40.3%となっている。

調査員専用回線においては、調査書類の配布誤りや調査書類の不足などからなる「市区町村での対応が必要な事項」が33.9%と最も高く、次いで調査世帯一覧等書類の作成方法などからなる「調査員固有の疑義」が28.8%となっている。

- 平均通話時間についてみると、世帯専用回線では3分16秒、調査員専用回線では4分31秒となっており、調査員固有の疑義に係る確認に時間を要しているものと考えられる。《図7》

図7 主な照会内容及び平均通話時間
(世帯専用回線)



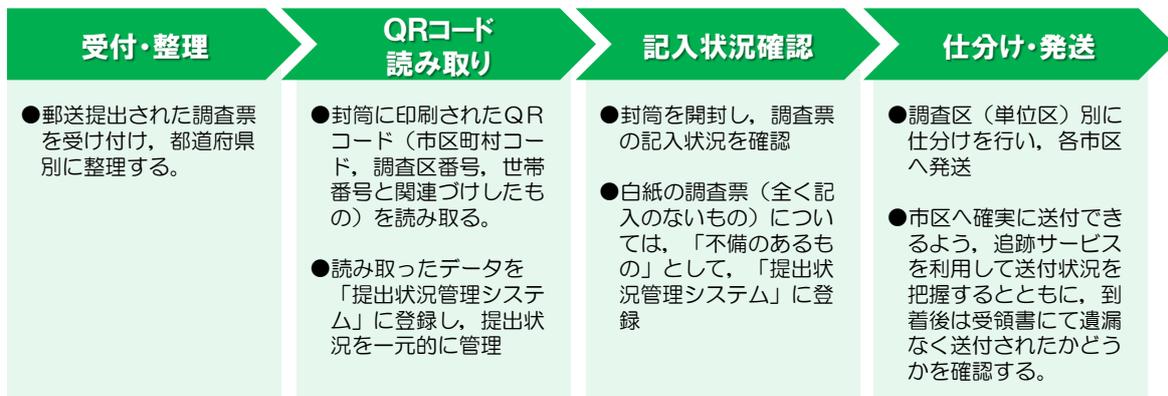


第2 郵送提出された調査票に係る受付・整理及び提出状況の把握

1 業務の概要

- (1) 業務内容 郵送提出された調査票について、調査票の入った『郵送提出用封筒』に印字されているQRコードを読み取り、その情報を「提出状況管理システム」に登録する。さらに、調査票の記入状況を確認し、市区・調査区別に仕分けを行った上で発送する。《図8》

図8 民間サポートにおける郵送提出調査票の処理フロー



- (2) 実施期間 平成26年6月16日（月）～7月18日（金）
- (3) 実施体制 総括責任者1名、工程管理責任者（SV）3名、作業スタッフ2名

2 受付整理及びQRコード読み取りに係る処理状況

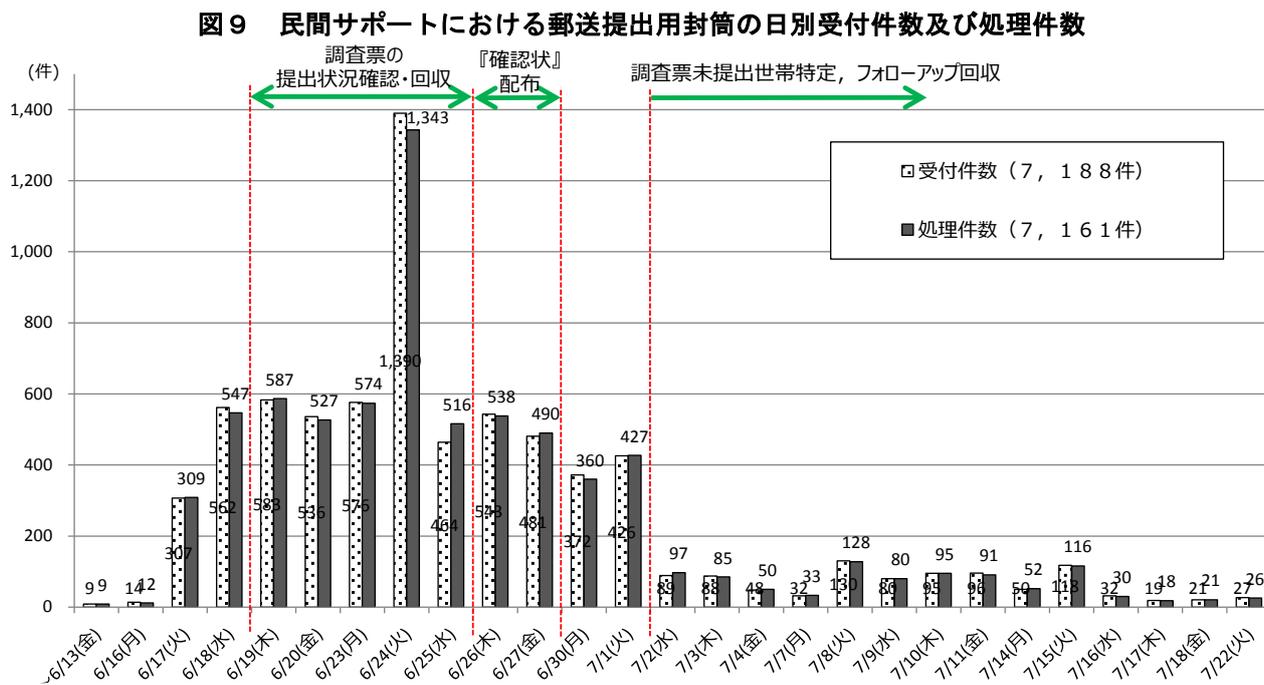
(1) 日別受取件数及び処理件数

- 民間サポートにおける『郵送提出用封筒』受取件数は7,188件で、これを日別に見ると、6月24日（火）が1,390件と最も多くなっている。7月2日（水）以降、

件数が大きく減少しており、郵送提出期間内に提出されたものが一段落しているものと考えられる。

また、7月8日（火）～15日（火）に微増しており、これはフォローアップ回収のための『督促状』の配布によるものと考えられる。

- 受取後、封筒表面に印字されているQRコードを読み取り、「提出状況管理システム」に提出情報を登録した件数は7,161件で、これを日別にみると、6月24日（火）が1,343件と最も多くなっている。《図9》



※ 受付総数（7,188件）と処理総数（7,161件）の差（27件）は、①『郵送提出用封筒』と調査票に調査区番号及び世帯番号の情報がない、②「提出状況管理システム」に既に郵送による登録があった、などの理由により市区による確認等の処理が必要となったもの。

(2) 曜日別受付件数

受付件数を曜日別にみると、火曜日が2,398件と最も多く、他の曜日と比べると突出している。これは、世帯によって週末の土曜・日曜に記入された調査票が日曜・月曜に投函されているものと推測される。《図10》

